

2020年1月某日

差枚 -537枚

RANK

C

実戦機種

SLOT劇場版魔法少女まどか☆マギカ[新編]叛逆の物語、S喰霊-零-運命乱、G I 優駿倶楽部、ディスクアップ

実戦レポート

この企画では珍しい方の部類に入る、「中規模以上の店舗かつ抽選参加人数も多め」という条件となったこの日の実戦。約200人の中で「174番」というどうしようもない数字を引いたものの、元々これ!という狙い台もなくやってきた身としては、それほど不利を感じることもない。むしろ焦って中途半端な台を確保して朝から一か八かの立ち回りをするよりは、落ち着いて台を選んだ方が良い結果に繋がるんじゃなかろうか。

そんなことを考えながら選んだのは、台数が多めのメイン機種かつ朝から満席になるほどの競争率でもなかった「SLOTまどか新編」。6号機というスペックを考えても、ちゃんと高設定を入れないと目立った出玉が出づらいこの機種は、まさに攻めるべき狙い目と言えるのではなかろうか。

そして、まだ空き台があるこの状況であれば、早めに見切って移動することも可能だ。小役、モード、ゲーム数振り分け、CZ当選率と様々な観点から見て微妙な数値だった1台目を捨てて隣に移動すると、すぐにスイカからCZに突入してボーナス当選。それから程なくして当たった2回目のボーナスからマギカラッシュを獲得して、その終了画面では「設定2以上濃厚」の示唆が出現したのだった。う~~ん、2以上かあ。とはいえこの画面も、設定2~6まで高設定になるほど1.5%~5.0%と出現率も上がっていくので、いきなり出たことは悪くない、というか良い要素なのだけれど、これを根拠に打ち続けるられるほどでもない。その後、通常モードでのゲーム数振り分けが続けて深いところを選ばれてしまったので、この台はいったん手放そう。

ここから、「喰霊-零-運命乱」「ディスクアップ」「G I 優駿倶楽部」などを色々と打ちまわってみるが、いまいち手応えがない。やはり全体的に稼働が高めなので、人気のシマはそれなりに打ち込まれた台しか空かない=挙動が悪かったということだろうし、人気がないシマはそもそもの高設定投入率に疑問符が。そんな中、やっぱり戻ってきた「SLOTまどか新編」のシマで、さっきまでは稼働していたカド台が空いたので着席。すると、最初のボーナス後にセリフが「こう見えて、私は円環の理の一部なのですよ」で偶数設定の強示唆。さらに直撃ATも引く。通常モードのゲーム数振り分けは100G手前が多い。これだよ、これが高設定の挙動ってやつだ!その後も「こう見えて~」のセリフが多いことで、いよいよ設定4・6の期待が高まってきたが、じゃあ設定6か?と聞かれたら、CZ突入率やチャンスモードの選択率など、不安が残る点もいくつかある。前任者も当然ながら設定推測をしたうえで、捨てられた台ってことだしな。結局、「あって4だろう」な挙動のまま、ボーナスからのAT獲得に苦しみながら終戦。まぁ、C級かな…。